

## ④名越の切通・まんだら堂を散策するコースガイド

催行日 5月8日(水) 集合 A・B班9:30 鎌倉駅東口交番横、  
C班 9:45 逗子駅改札口

行程 A・B班 鎌倉駅 → (大巧寺 → 本覚寺 → 八雲神社 → 上行寺 →  
安養寺 → 妙法寺) → 安国論寺 → 名越切通大町口 → まんだら堂やぐら  
群 11時着 → 妙性寺 → バス停妙性寺 12:27 発 → 逗子駅  
C班 逗子駅バス 10:01 発 → 亀が岡団地北 → 名越切通亀が岡団地口  
→ 名越配水池 → 第一切通 → まんだら堂でA・Bと合流

### A・B班コース

鎌倉駅交番前を出発。中央にある屋根付横断歩道を渡り、そのまま歩道を直進。鎌倉八幡宮に通じる道路のスクランブル交差点を斜めに渡ると最初のお寺「大巧寺」です。



大巧寺

裏口を出て直進し突き当りを右折、歩道が狭いので車には十分注意して歩いて下さい。前方に見える門の左が「本覚寺」です。

本覚寺には、日本刀剣史上もっとも有名な刀工の一人である「正宗の墓」とお寺に珍しい「目のお守り」があります。

本覚寺の右外れに「夷堂橋の石碑」が立っています。石碑には、流れる川の名が「夷堂川」であり、掛かる橋が「夷堂橋」であることを明記しています。



本覚寺

夷堂橋を渡り正面の看板にある八雲神社の矢印方向に進んだ先にある「大町四ツ角交差点」を左折。「古美術店」「青い3階建て住宅」などで楽しみながら歩いてゆくと、左手に鎌倉最古の厄除けの社である「八雲神社」の看板が立っています。残念ですが路地を曲がらずに通過します。この神社には、「井戸埋祓」(いどうめばらい)と東京オリンピックの聖火台と同じ人が鑄造した「天水盤」、「森羅三郎の手玉石」という変わったものがあります。



上行寺

バス通りを更に進むと右側に「上行寺」があります。通過しますが、上行寺は癌を初めあらゆる病を封じてくれるというご利益で知られているそうです。癌を心配されている方は、お参りしては如何ですか？

少し先の左の「安養寺」には国の重要文化財の「石造宝篋印塔(ほうきょういんとう)」があるが、有料でもあり通過します。そのまま足を進め、二差路に立つ安国論寺の看板の方に入り、橋を渡って直ぐ左に曲がり川沿いを進みます。花も無い殺風景な道を進み「交差点注意」の看板がある十字路を右折します。閑静な住宅街の道を進み、T字路の左角にある「妙法寺」の立札に沿って左折。その先に「妙法寺」があります。



苔の階段

妙法寺は、美しい苔の石段、日叡の父である護良親王（もりながしんのう）のお墓、頂上からは由比ヶ浜の素晴らしい景色が見られますが、護良親王のお墓に辿り着くのに約200段の急な階段の上り下りする厳しさとトータル時間、参拝するには有料であることも含めて通過することにしました。

立札まで戻って左折し暫く進み、左先に見えた石碑に沿って左折すると「安国論寺」。

「寺の謂れ」「境内霊場案内図」を読んでから山門を潜り案内所で300円を支払います。ここから25分間の自由散策になります。

境内には、本尊のがある

本堂、日蓮上人が「立正安国論」を著した草庵、日朗上人が茶毘にふされたという日朗上人御茶毘所のお堂、日蓮聖人が襲われたとき難を逃れたという南面窟、日蓮上人が日々、富士山に向かって法華経を唱えた富士見台などがあります。また、下見の時に観たヤマブキ、桜、源平桃、シャクナゲなどの花に変わって美しい新緑を満喫してください。トイレは本堂の階段を上った左の廊下の奥です。



安国論寺

散策を十分に楽しんだ後、10:30山門を出ます。直ぐ左の「猿田彦大神」の石碑の前を過ぎ、せせらぎ治いに足を運びます。突き当たったら左折し広い通りに出て横須賀線の踏切を渡り「名越切通」の表示板を左折。名のない川治いを歩くと2つ目の踏切「名越坂踏切」です。線路の右前方には、まんだら堂の下を抜けるトンネルの入り口が見えます。踏切を渡って直ぐ右折、線路伝いに進むと「名越切通」の入口に到達です。

これからが、目的の「名越切通」と「まんだら堂やぐら群」に向かって進みます。

アスファルトの坂を上ると道は、二股に分かれますので右の崖伝いを進みます。眼下には、トンネルに向かって走ってくる横須賀線が見えます。そこを過ぎると本格的な山道になります。

初めは、緩やかな昇りで石段も揃えられ道も整備されています。「名越切通・法性寺・大切岸」の表示板が立つところから、約30分急坂を昇り続けます。しかも急坂の石段は不ぞろいで間隔もまちまち。段差も大きい。昨年、散策した「朝夷奈切通」の三郎の滝に下るのを逆に上るような険しさり坂は、「まんだら堂やぐら群」な道を暫く歩くとC班と合流すですが、そこを過ぎ第二切通を通札の場所に戻ります。



不揃いの階段

C班は、逗子駅を10:01の団地北バス停に到着。バス

クヤクなどの花や植木を見なが越切通亀が岡団地口に到着。「名越切通」の説明板をじっくり読み、「第一切通」のゆるやかな坂を上り、「小坪階段口」を通り、「まんだら堂やぐら群」の立札の前に到着です。

バスで出発、10:30頃「亀が岡」停の斜向かいの路地を入り、シャラだらだら坂を上ること数分。名越配水池」に行き、入り口に戻



やぐら群

分堪能してください。但し、許可条件は、「敷地内は全て職員の指示に従うこと」なので遵守してくださいよ。

やぐら群に別れを告げ、「お猿畠の大切岸」に向かいます。

やぐら群横の細い坂道を上り、金網で囲まれた「無縁諸霊之碑」を通り過ぎ、ごつごつした道を歩き、階段を上るとその先は平たんな道です。歩いてゆくと「法華宗日蓮大上人」と書かれた大きな石に出会います。



大切岸

この道は「法性寺」に繋がっていて、日蓮上人が浄土教信者に襲われた時の逃げ道である証だそうです。更に坂を下ると「大切岸」「法性寺」の道しるべに出会ったら「大切岸」方向に進みます。「石廟」を見て更に坂を下り「大切岸前面平橋」の看板の矢印に従って行くと、何段も削られた壁面が眼前に現れます。それが「お猿畠の大切岸」です。数十メートルに渡って続く壁面に圧倒されます。

二俣の分かれ道に戻り、「法性寺」を指す矢印に従って左折。坂道をどんどん下って行き

眼下に現れた墓地を見ながら更に下ります。左手にやぐらが現れたところが、「法性寺」の裏口です。

アスファルトの細い道を歩き二股を左に進みます。正面に「日朗菩薩御廟所」その左に「祖師堂」があり、その横の小さな階段を上ると「御避難の法窟」、鳥居の階段を上がると「山王権現祠」があります。そこから見ると素晴らしい青い太平洋が眺められます。



法性寺

「日朗菩薩御廟所」の右の階段を下りると階段が二つに別れています。右に下り左に進み、道なりに坂をどんどん下ります。すると右手に「法性寺」の本堂がります。左手には休憩所がありその奥にトイレがあります。

さあ、バス停まで 10 分足らず。12 時 27 分発逗子行きに間に合うよう最後の頑張りをしましょう。

更に坂を下って行くと立派な山門があり、その手前にある立札には、日蓮上人と白猿との係わりが書かれています。山門を潜り抜け、道を右折し踏切を渡り直ぐ左折。バス通りの右に「鎌倉行きバス停」、左の先にあるのが「逗子行きバス停」

皆さん大変お疲れ様でした。

